

番号	2-4-1	表題	南部スラッジプラントにおけるガスエンジン発電機の運用効率化について	
内容	<p>南部スラッジプラントでは、汚泥処理機能の安定確保を目的に平成 28 年 9 月に非常用・常用兼用発電機としてガスエンジン発電機を導入した。以降、年間約 2,000 時間の常用発電を行うことにより、電気料金の削減を図ってきた。</p> <p>しかし、燃料である都市ガスの契約単価は年々上昇し、削減効果は低下していた。一層の維持管理縮減を推進するためには、契約単価の低減と合わせた発電機の運用効率化が課題であった。</p> <p>今回、契約単価の低減を図った上で、都市ガス料金が電気料金より最も割安な 7 月から 9 月までの夏季昼間時間帯における発電量を大幅に増加させることにより、維持管理費を従前に比べ削減することが出来たので報告する。</p>			
キーワード	ガスエンジン発電機 常用発電 都市ガス 維持管理費削減			
処理区名	森ヶ崎処理区	位置区分	処理場 水再生センター	
職種区分	設備	施策区分	効率化	
状態区分	調査 研究	新規性		
実施年度	令和 3 年度	全体期間	令和 3 年度 ～ 令和 4 年度	
担当部署	森ヶ崎水再生センター 南部スラッジプラント管理担当			
発表履歴	局内			
	局外	令和 4 年度 第 42 回下水道設備研究発表会		
調査方法	直営調査			
関連情報				